

CKDモデル事業に参加し健康経営を推進せよ！

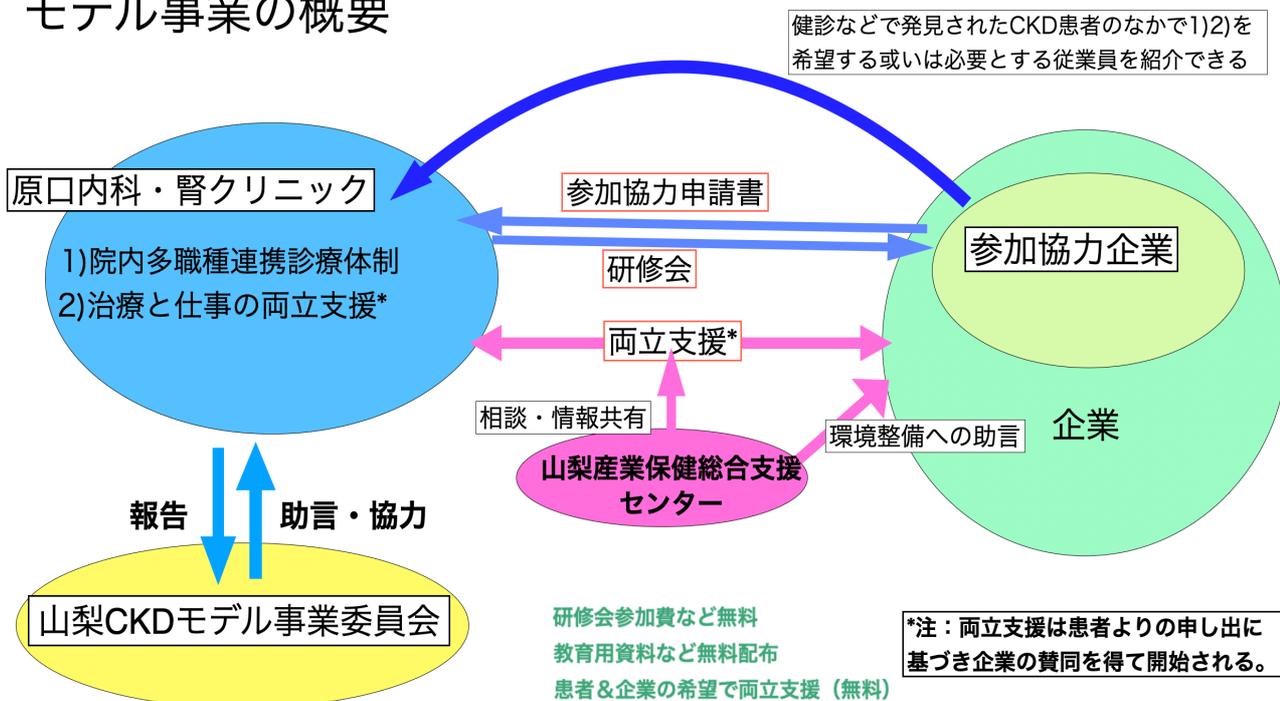
参加協力申請書の提出で始まる健康経営

山梨CKD（慢性腎臓病）モデル事業に参加してみませんか？ やることは簡単。参加協力申請書を提出するだけです。連絡が来たら産業医、保健師、看護師、衛生管理者など**産業保健スタッフ**が講習会の参加してください。腎臓病の悪化メカニズムを徹底解明。資料なども配布します。生活習慣病対策が向上します。

多職種連携診療とは、医師、看護師、慢性腎臓病療養指導士、糖尿病療養指導士、管理栄養士、薬剤師などが協力してより良い療養生活を送れるように患者指導することです。塩分やカロリーを摂りすぎる人、尿蛋白や腎機能の悪化で困っている人はしっかりとした指導を受けましょう。

治療と仕事の両立支援では医療機関と企業が協力して職場環境を整え患者さんの仕事と治療の両立を支えます。患者さんの健康は守られ企業は大事な人材を失うことなく**健康経営を推進**できます。

モデル事業の概要



透析の原因となるCKDは自覚症状がなく発症から透析まで10年以上かかるのが普通です。糖尿病、高血圧などの生活習慣病、腎炎などのCKDは現役の時に治療しないと進行は止められません。

「慢性腎臓病（CKD）重症化予防のための診療体制構築及び多職種連携モデル事業」は厚生労働省令和5年度モデル事業で山梨県では医療法人社団和水（なごみ）会が行います。詳しくは下記までメールでお問い合わせください。

事務局：400-0115 甲斐市篠原2975-1

原口内科・腎クリニック 担当；依田

メール；yckdi2010@yahoo.co.jp